

点検の内容例 - くさび緊結式足場用 -

点検事項	点 検 の 内 容
1 床材の損傷、取付け及び掛渡しの状態	床材の取付状態は計画通りか 床材は変形したり、損傷していないか 床付き布わくは外れ止めが確実にロックされているか 床材と建地の隙間は12センチメートル未満()か 床材は建地との間に隙間をつくらぬよう設置されているか
2 建地、布、腕木等の緊結部、接続部及び取付部の緩みの状態	建地、布材、腕木の取付状態は計画通りか 建地は、抜け止めピン等で確実に接続されているか 布のくさびは建地緊結部に確実に打ち込まれているか 腕木のくさびは建地緊結部に確実に打ち込まれているか 建地、布、腕木の取付部に緩みはないか
3 緊結材及び緊結金具の損傷及び腐食の状態	緊結金具(クランプ等)に損傷、腐食はないか 継手金具(ジョイント等)に損傷、腐食はないか
4 足場用墜落防止設備の取外し及び脱落の有無	手すり、中さん、幅木等の取付状態は計画通りか 手すり、中さん、幅木の脱落はないか 手すり、中さん、幅木は確実に固定されているか 手すりの高さは85(90)センチメートル以上か 中さんの高さは35センチメートル以上50センチメートル以下か 妻面に手すり及び中さんは設置されているか
5 幅木等(物体の落下防止措置)の取付状態及び取外しの有無	幅木、メッシュシート、防網等の取付状態は計画通りか 幅木、メッシュシート、防網は取り外されていないか 幅木は脚柱等に確実に取り付けられているか メッシュシートは全てのはと目で緊結されているか 防網はつり綱で確実に緊結されているか
6 脚部の沈下及び滑動の状態	ベース金具、根がらみ、敷板、敷角の設置は計画通りか 敷板、敷角に異常な沈下、滑動はないか ベース金具は敷板に確実に釘止めされているか 根がらみは所定の位置にクランプで緊結されているか
7 筋かい、控え、壁つなぎ等補強材の取付状態及び取外しの有無	筋かい、控え、壁つなぎの取付状態は計画通りか 筋かい、控え、壁つなぎは取り外されていないか 専用の壁つなぎ用金具が使用されているか 控えはクランプで緊結されているか
8 建地、布及び腕木の損傷の有無	建地、布、腕木に変形、損傷はないか
9 突りょうとつり索との取付部の状態及びつり装置の歯止めの機能	

1 についての点検は、次に掲げる場合であって、床材と建地との隙間が12センチメートル以上の箇所に防網を張る等墜落による労働者の危険を防止するための措置を講じたときは適用されないこと。

(1) はり間方向における建地と床材の両端との隙間の和が24センチメートル未満の場合

(2) はり間方向における建地と床材の両端との隙間の和を24センチメートル未満とすることが作業の性質上困難な場合

また、はり間方向における建地の内法幅が64センチメートル未満の足場の作業床であって、床材と腕木との緊結部が特定の位置に固定される構造の鋼管用足場の部材で、平成27年7月1日現にあるものが用いられている場合は適用されないこと。